令和７年度　新潟市岩室民俗史料館　事業報告書

評価項目		評価の観点	内　容
団体の評価	①団体について	地域に密着した組織であるか	指定管理者：岩室民俗史料館運営協力友の会 岩室地域で使われていた生活用具、作業用具などを収集し、整理保管するとともにそれらを展示し、また、収集した用具などを活用して体験・実演を行う事を目的とした組織である。
	②予算の範囲内での適正な執行	予算の範囲内で、適正に執行ができるか。また、収支計画は適正か。	今年度より有料化となり、教室等で参加者と区別するため、出入り口の改修工事を行ったが指定管理料の範囲を超えなかった。また、光熱水費を節制し利用者の不便の無いように努めた。
	③個人情報保護関係	新潟市個人情報保護条例の規定に基づき適切な取扱いを行えるか。また、個人情報の保護に対する意識は適正か。	個人情報が記載されている利用申込書等の取扱いの際など、日々の業務において個人情報保護に関する注意喚起を逐次行い、個人情報の適正な取扱いの徹底を図った。 個人情報を含む書類の破棄にあたっては、シュレッダーにより裁断処理の徹底を図った。
指定管理の評価	④施設の管理方法	事業計画に定める施設の管理方法は適切か。	利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、協定書・管理仕様書の内容に基づき、適正管理に努めた。 館長が中心となり職員全員に対し施設管理における報告事項・留意事項などを伝達し、施設サービスの向上に努めた。また、地域のお茶の間として、住民が気軽に立ち寄っていただけるようなレイアウトを工夫した。
	⑤組織・人員体制	安全に運営できる組織・人員体制になっているか。	運営協力友の会が管理人を雇用 館長（常勤）１名、受付・事務（臨時・代替含）1名
	⑥事故防止や発生時の対応	事故防止に努めているか。また、事故発生時の対応が整備されているか。	事故発生時には、速やかに館長への報告・伝達を行い、事故の大小にかかわらず、西蒲区地域総務課への報告を適切に行うこととしているが、施設内における定期的な巡回や設備の適正管理により、事故防止につなげた。
	⑦要望や苦情に対する対応	要望や苦情を受けるためのしくみが整備されているか。	要望・苦情などがあった場合、必要に応じて施設管理運営会議で情報の共有・対応検討を行うこととしているが、当該年度における利用者からの苦情はなかった。
	⑧災害発生時の対応	防災マニュアルや避難訓練などの災害発生時の対応は整備されているか。	災害が発生した場合、「災害対策マニュアル」に従い、利用者の安全を確保するよう研修を実施した。
	⑨管理経費削減の具体的取り組み方法	経費削減への取り組みに努めているか。	光熱水費が公費で賄われていることを十分に認識し、節水やこまめな消灯の徹底など、無駄なエネルギーの消費を抑えて管理的経費の節減に努めた。
事業の評価	⑩自主事業計画	地域に配慮した事業が計画されているか。	地域住民を対象とした、布草履作りや糸紡ぎ・裂き織などの体験教室を開催した。新たに草木染や花嫁衣裳展等も行った。
	⑪サービス向上に向けた取り組み	利用者のサービス向上に向けた取り組みに努めているか。	利用者のニーズの把握に努め、利用者の声に積極的に耳を傾けるため、館内にアンケート用紙を常設している。 また，新潟市歴史博物館みなとぴあなど文化施設との情報共有を行う。地域の茶の間として施設を活用し、利用者へのサービス向上につながった。